

令和7年度 福井県ファシリテーション研修
サビ児管研修演習講師養成コース

サービス管理責任者および児童発達管理責任者基礎研修

演習講師役割と基礎研修概要

令和6年9月17日（水）

演習講師養成コース内容

- ▶ “ファシリテーション技術に関する知識”を活用し、演習講師となって指示・指導する経験をする。
- ▶ 令和元年度からの新カリキュラム（相談支援従事者研修/サビ児管研修）で求めている価値・知識・技術を深く学ぶことができ、価値に基づいた行動ができるようになる。



- ・ 県の障がい福祉活性化の担い手になれる！
- ・ 自分の仕事や自事業所について振り返ることができる！！
- ・ 県内の先輩講師や他事業所職員とのつながりがもてる！！！！

～実施要領添付チラシより～

演習講師養成コースの流れ

▶ 講義・演習

ファシリテーションの知識・技術を学び、研修でのグループワーク力をつけるほか、地域での実践に活用できる事例検討等を学ぶ。

▶ 共有

研修運営会議に参加し、他研修企画運営メンバーと研修意図や構造の共有を図る。

▶ 実践

演習のファシリテーター（演習講師）として参加する

『サビ見管基礎研修』

基礎研修が演習の場となる理由

- ▶ 目標が明確（個別支援計画の作成）

- 準備の重要性

- ▶ 様々な背景の受講者

- Ft技術の実践

- ▶ たくさんの演習

- 実践・振り返り・評価そして実践・・・



サビ児管基礎研修のめあて

- ▶ サービス管理責任者・児童発達管理責任者の役割を知る
- ▶ サービス提供プロセスの管理を学ぶ
- ▶ 個別支援計画作成のプロセスを学ぶ
- ▶ OJTのなかで学んでいくことの道筋を立てる

サビ児管基礎研修の組み立て

➤ 講義（1日）・・・福祉の動向や基礎知識の習得（Web）

➤ 事前学習・・・事例の読み込み、概要作成など

➤ 演習（2日間）

～1日目～ ①事例概要・・・野中式
②サービス提供のプロセス
③ニーズ整理
④個別支援計画作成

～2日目～ ①個別支援計画作成（1日目の続き）
②模擬支援会議（ロールプレイ）
③中間評価
④個別支援計画修正

**準備が8割
ファシリテーターは、
演習内容の確実な把握が
必要**

**ここが
ファシリテーターの出番**

演習を詳しく・・・1日目

▶ 事例概要・・・野中式を中グループで講師Ftで進行

誉さん像を共有する...リフレーミングなどの知識を実体験してもらう

▶ サービス提供のプロセス・・・講義とデモで進行

アセスメントや担当者会議というものを知る

▶ ニーズ整理 ※今日の演習

誉さんの人生のニーズ、そのなかで“働く”ニーズを整理してしぼる

▶ 個別支援計画作成 ※26日の演習

就労支援B型の個別支援計画作成←長期・短期は目指す

演習を詳しく・・・2日目

- ▶ 個別支援計画作成（1日目の続き）

完成を目指しますが・・・あくまでも「プロセス」を学ぶことを重視

- ▶ 模擬支援会議（ロールプレイ）

作成した経過を誉さんとお母さんに説明するロールプレイ

- ▶ 中間評価 **※どこかのタイミングで**

ロールプレイやモニタ動画を見て、中間評価をする

- ▶ 個別支援計画修正

中間評価を経て、計画を修正する

ファシリテーターは

基礎研修受講者の背景イロイロ

多種多様な
背景や環境の
いろんな意見を
持っている人たち

- よく分からないけど研修に来ました
- サビ児管ってなに？
- まだ、1年目なんだけこの研修来ていいの？
- 自分のところのサビ児管って、何してるのかよく分からない
- 自分はこんなサビ児管になりたいんだ！
- 研修って苦手...グループワークってなにすんの？

「否定されない」環境のなかで「意見が言える」ための『場づくりの技術』『人と人を結ぶ技術』

様々な意見からベクトルを合わせていくための「集団における問題解決」「アイデア開発」
「合意形成」